

全国小学生タグラグビー選手権大会 レフリングガイド



公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
普及育成委員会 タグラグビー部門
(監修 審判委員会)
2014.7.6 発行



目次

はじめに(基本的な考え方)	1
1. タグラグビーの魅力を引き出すために	
①身体接触(コンタクト)のないゲームにする	
◆〈前提〉攻守双方ともに、接触を避ける	2
◆〈レフリーにできること〉	3
◆〈コンタクト発生時の判断・判断基準〉	4
②プレーの継続を支援する	
◆〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解1~3〉	5~7
◆〈アドバンテージについての共通理解1~2〉	8~9
2. 実際のレフリングにあたって	10
①競技規則の理解②タグラグビーゲームの理解	11
③準備	12
④試合中	
◆レフリーの態度	13
◆フリーパス(ゲームの開始、再開)	14
◆ポジショニング・ランニングコース	15
◆タグ	16
◆その他	17
◆アシスタントレフリー(AR)との連携	18~21
まとめ	22~23
お問い合わせ先	24

はじめに(基本的な考え方)

レフリー(含アシスタントレフリー)の役割

❖「タグラグビーの魅力」を引き出す

〈条件〉

- ・身体接触がない
- ・プレーの継続
- ・ラグビー精神が反映されている

「やって楽しく、見ておもしろい」ゲームになるような、環境作り。

※「全国小学生タグラグビー選手権競技規則」の一部は、この大会のためだけの特別な競技規則です。



1. タグラグビーの魅力を引き出すために

①身体接触(コンタクト)のないゲームにする(1)

❖〈前提〉攻守双方ともに、接触を避ける

- ・相手選手がぶつかってこない、と信じているから安心し、思い切ってプレーができる。
- ・これを否定する行為、つまり、「接触してもよい」と考えて行う行為は、タグラグビーの成り立ちそのものの否定である。

レフリー、プレーヤー、コーチ、全ての関係者がこの前提を共有し、プレーやレフリングに反映させることが、魅力的なゲーム作りにつながる。

レフリーは、故意の接触を許してはならない。

①身体接触(コンタクト)のないゲームにする(2)

❖〈レフリーにできること〉

※本資料においては、攻撃(側)・防御(側)を以下のように定義します。

攻撃(側)…ボールを保持しているプレイヤーおよび
そのプレイヤーが属するチーム。

防御(側)…攻撃(側)に対するプレイヤーおよび
そのプレイヤーが属しているチーム。

- ・接触が予見される場面で回避をうながす。
例:「よけて」「かわして」などの声をかける。
- ・身体接触に対して、的確に判断・判定をする。
- ・コンタクトを起こす、あるいは誘発するプレーを行う傾向のあるプレイヤー、チームに注意をする。



①身体接触(コンタクト)のないゲームにする(3)

❖〈コンタクト発生時の判断・判定基準〉

相手をかかわす、あるいは相手から逃げるプレイヤーは接触を起こさない。

(原則)接触の原因が…

- ・攻撃側が防御側の方に向かって走る(含、直進)。→**攻撃側の反則**
- ・防御側が攻撃側の進路をふさぐ(攻撃側の進路の直前をさえぎる)、体を当ててタグを取る、飛び込んでタグを取る。→**防御側の反則**

接触によって「プレイヤーの安全が脅かされた」「プレーが停止した」と判断したら、レフリーは速やかに競技の停止を命じ、相手側に攻撃権を与える。

「プレイヤーの安全が脅かされた、とは言えない」または、「プレーは継続できている」と判断できる状況では…**アドバンテージ**の活用。

②プレーの継続を支援する(1)-1

❖〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解1〉

攻撃側は(自らミスを犯さない限り)、
4回攻撃を(「タグ」のあと、パスが)
できる(攻撃権の保障=攻撃側の権利)。

※ミス...ハンドリングエラー(含インターセプト)、タッチ、コンタクト

↓

防御側プレーヤーに許された、攻撃側プレーヤーの前進を止める方法は、
オンサイドの位置からタグを取ることのみである。(防御側の義務)

↓

タグの後、防御側プレーヤーにはタグを取られたプレーヤーがパスをする
位置より自陣ゴール側に戻って相手に攻撃させる義務が生じる。
(戻りきれない場合は、相手の攻撃を阻害してはならない)。
→これに反する行為が「**オフサイド**」

②プレーの継続を支援する(1)-2

❖〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解2〉

防御側は、正当にタグを取ること(オンサイドの位置にいるプレーヤーが、身体接触及びそれに類する行為をせずにタグをとること)で、
…攻撃側の地域的な前進を止められる。
…4回の「タグ」で相手から攻撃権も奪える(防御側の権利)。

※1～3回目のタグで奪えるのは、ボールを持ったプレーヤーが地域的に前進する行為であることに注意

攻撃側プレーヤーがタグ後にできるのは、地域的に前進せずにパスをすることのみである(攻撃側の義務)。

タグの後、攻撃側プレーヤーは地域的に前進せずに攻撃を継続する義務がある。
→これに反する行為が「**オーバーステップ**」(攻撃側のオフサイド)。

②プレーの継続を支援する(1)-3

❖〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解3〉

「タグ」後の行為が…

- ・地域的な前進を目的としていないこと（オフサイドラインを相手ゴール側に押し上げることをねらいとしない）。
- ・身体接触を誘発しないこと。
- ・ただちにパスによる攻撃を企図していること。



以上であれば、レフリーは攻撃権を尊重する。



②プレーの継続を支援する(2)-1

❖〈アドバンテージについての共通理解1〉

※アドバンテージが適用されない行為

- ・プレーヤーが危険にさらされる(おそれがある)。
- ・正当なタグ以外の行為(身体接触など)で攻撃権が奪われている。
- ・レフリーにボールが当たる。ボール、あるいはボールを持ったプレーヤーがタッチに出る。

防御側の行為に見合った「**アドバンテージの適用**」を心がける。



その行為がなければ、目の前で起きていることよりも、
(間違いなく)より効果的な攻撃ができたか？
という規準で判断・判定する。



②プレーの継続を支援する(2)-2

❖〈アドバンテージについての共通理解2〉

防御側の行為に見合った「アドバンテージの適用」を心がける

例) 同じ「オフサイド」でも…

- ・攻撃側に与える影響が軽微…**アドバンテージの解消は早めに。**
- ・オフサイドのため攻撃側は本来意図した攻撃ができていない（攻撃は継続）。
⇒攻撃の機会を与える。
「地域的な前進」が得られなければアドバンテージがあったとは認めない(**ノーアドバンテージ**)。

建設的なプレーを支援する

2. 実際のレフリングにあたって

①競技規則の理解

②タグラグビーのゲームの理解

③準備

④試合中

(含、アシスタントレフリー(以下、「AR」)との連携)



① 競技規則の理解



「サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権競技規則」の一部は、この大会のためだけの特別な競技規則です。

② タグラグビーのゲームの理解



「タグラグビー」はラグビーの特性を生かして作られたボールゲームです。
ゲームの特性をよく理解してレフリングしてください。

③準備

- ・フィットネスおよびランニング能力の向上
⇒良いポジショニング、テンポの良い試合運営のために
- ・服装(選手と同様に颯爽とした姿に見えるものを)
⇒選手と試合に対するリスペクト
- ・笛(長・短、強・弱、等の区別を付けて吹けるように)
⇒笛によるゲームのコントロール



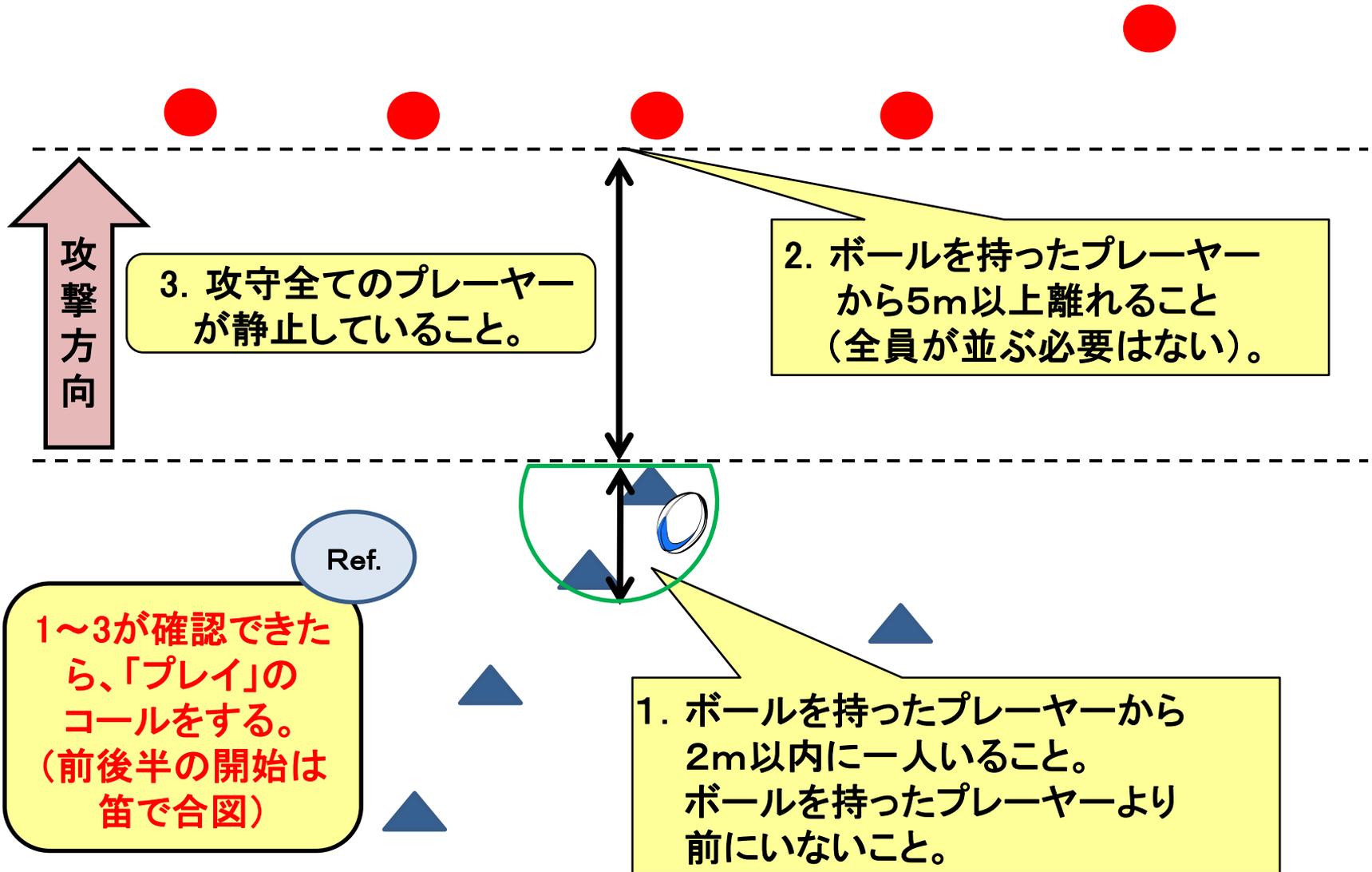
④試合中 …レフリーの態度



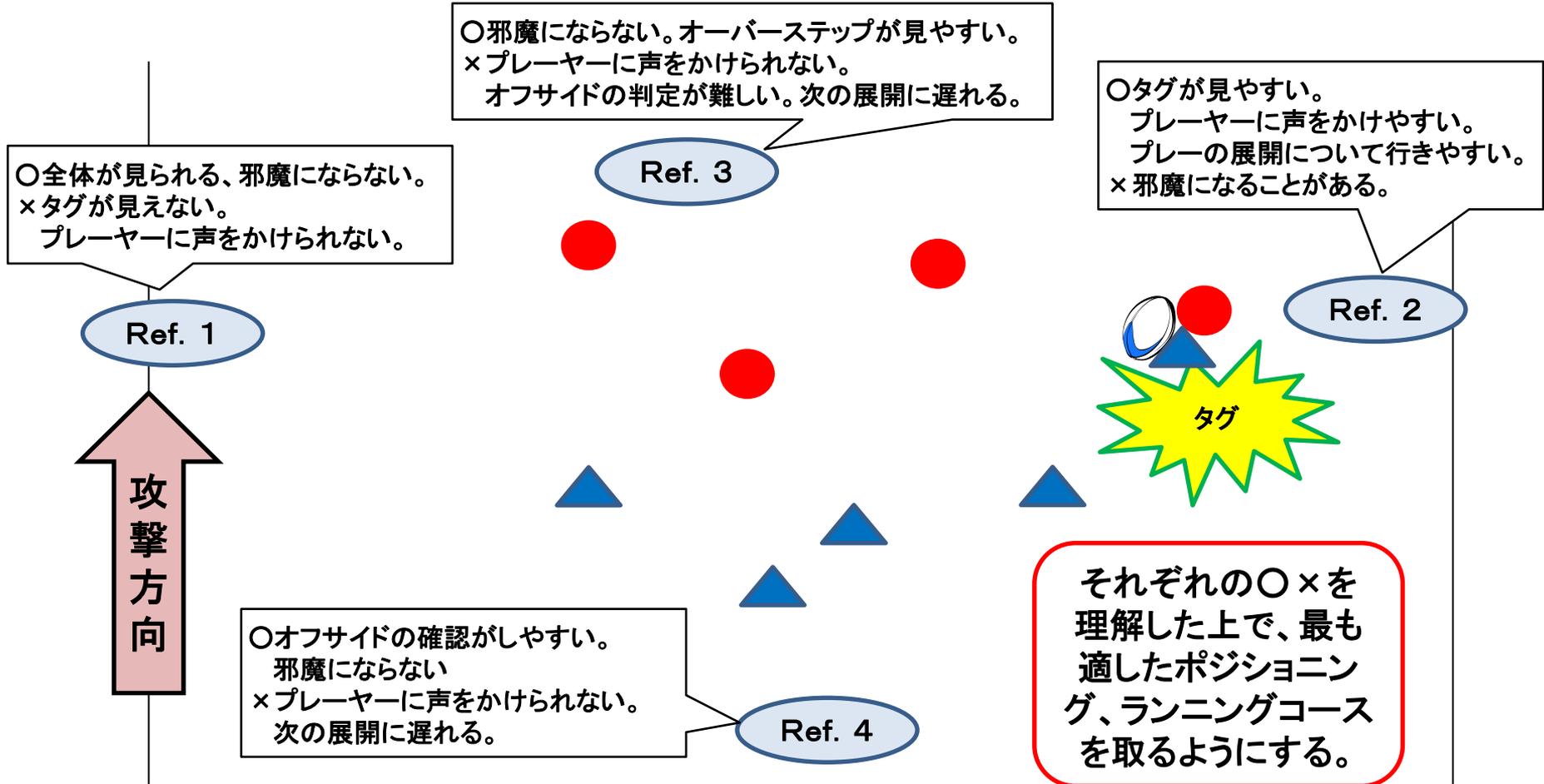
- 毅然とした態度(ただし、高圧的でなく)。
- 笛とシグナル(大きく、はっきり)、「タグ、1」等のコールで、何が起きたのかを誰もが分かるように伝える。
- 選手とのコミュニケーションは「『強いメッセージ』を『優しい、短い言葉』で」。
- 表情は穏やかに、ただし、ゲームをスポイルする行為や言動には厳しく。



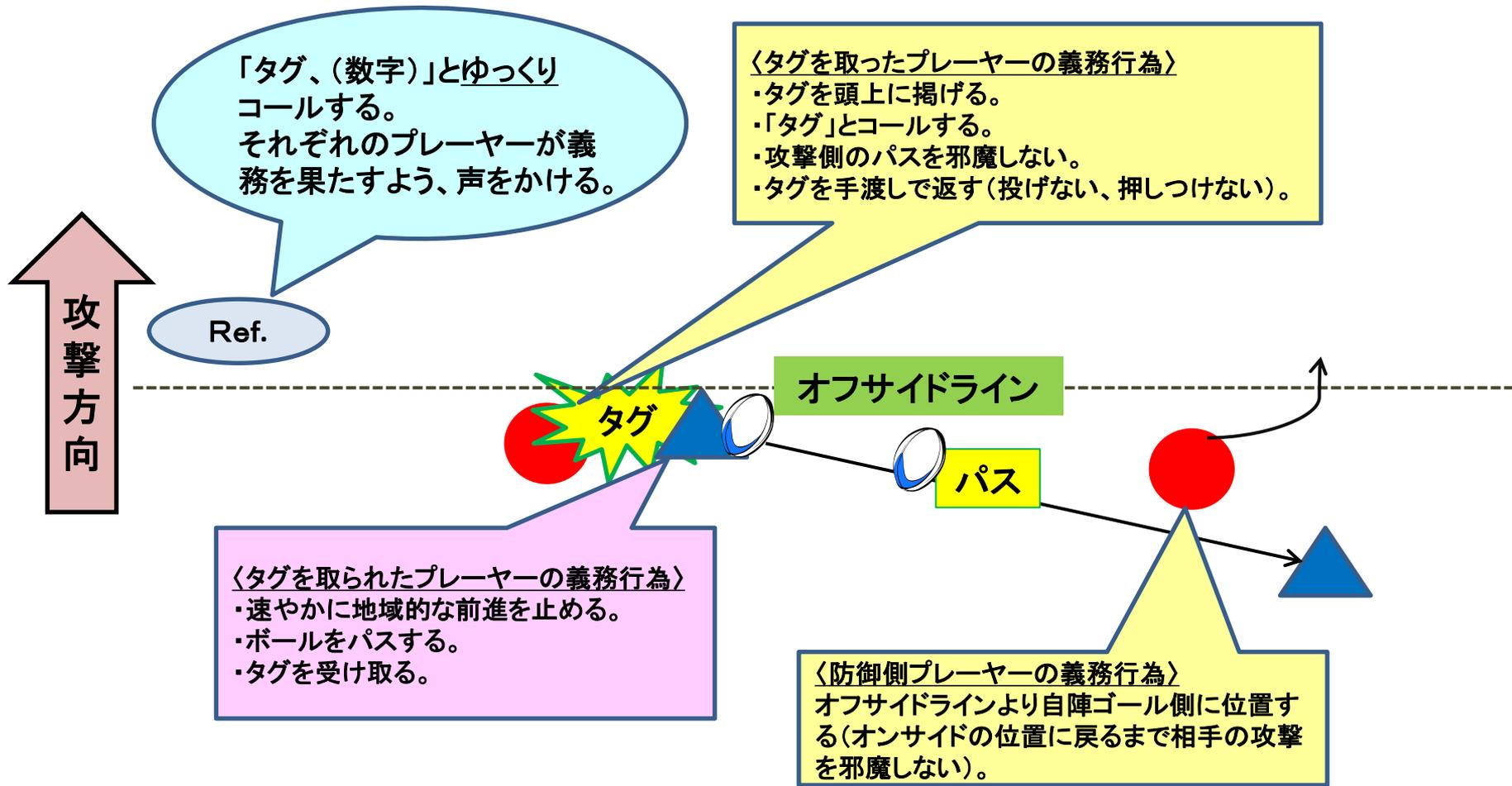
④試合中 …フリーパス(ゲームの開始、再開)



④試合中 …ポジショニング・ランニングコース



④試合中 …タグ



④試合中 …その他

- コーチの不適切な言動は、AR、競技役員と連携して対処する。
- 反則を見つける、取り締まるよりも、よいプレーができるように環境を整えるようにする。



④試合中 …アシスタントレフリー (AR) との連携(1)

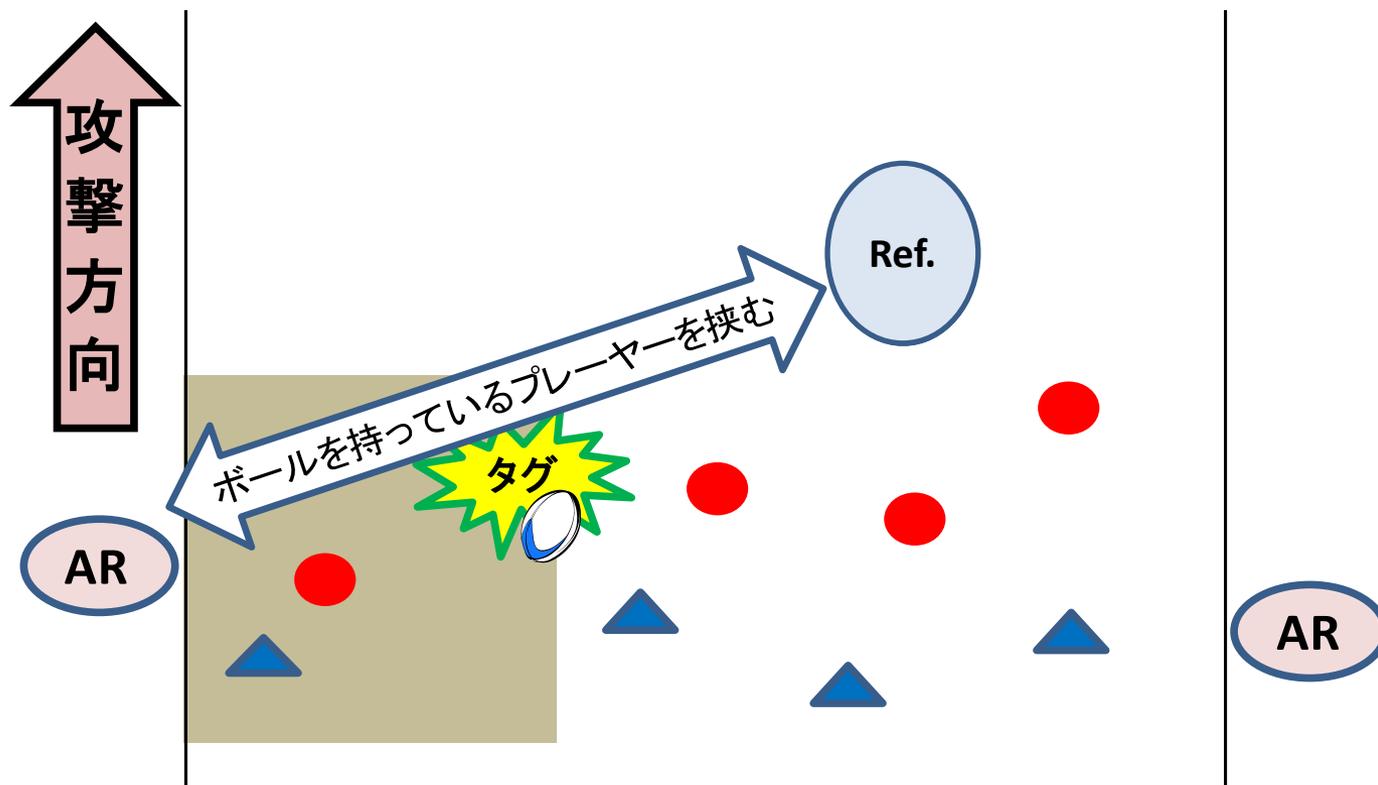
(1) ARとの連携のポイント

- I. 試合前に、レフリーとARとで、「何を」「どのようにして伝えるか」を打ち合わせしておく。
- II. ARの旗が上がったら(あるいは、上がっている間は)試合の進行を止める(開始しない)。ARも旗を上げたがプレーが続いているときなどは、反対側のARも旗を上げ、レフリーに試合の停止を促す。
- III. ARは以下の時、旗を上げてレフリーに試合進行の停止を要求する。

(2) ARが注視するポイント

- I. フリーパス時にDFプレーヤーがオフサイドラインまで下がっていない。
- II. フリーパス時に、DFプレーヤーが制止していない。ボールまたはボールを持ったプレーヤーがタッチラインに触れる、またはタッチに出る。
- III. タグを正しくつけていないプレーヤーがプレーに関与する。
(ボールに触れる、ボールを持ったプレーヤーのタグを取る)
- IV. その他、そのまま試合を進行させるのが不相当と思われる事象が生じたとき(レフリーの目視できない位置で反則した側が有利に展開している状況、コンタクトによる攻撃権の入れ替わり、負傷、ファールプレーなど)。

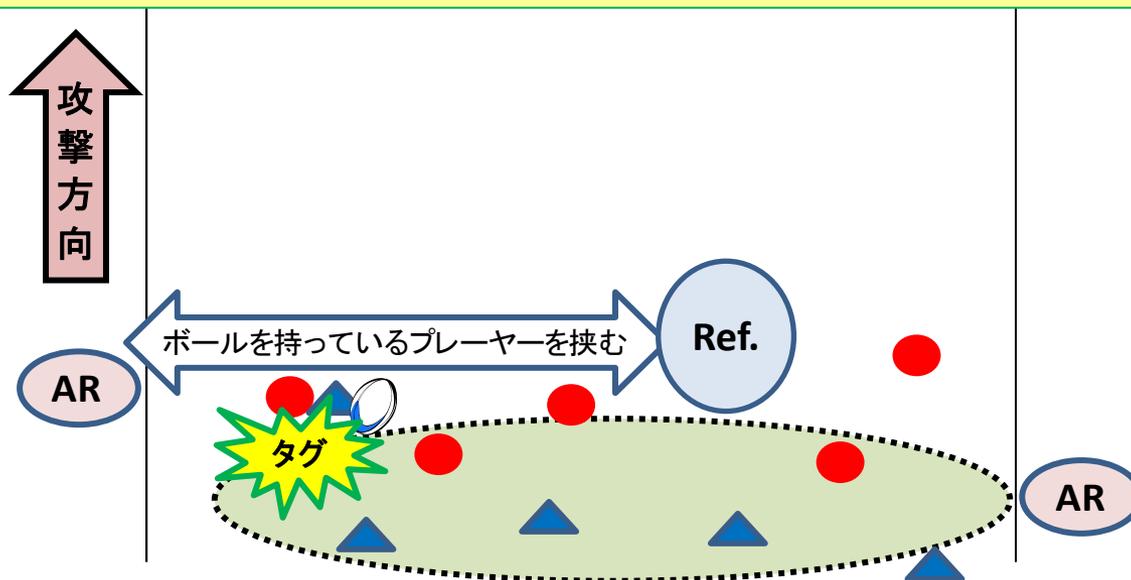
④試合中 …アシスタントレフリー(AR)との連携(2) - ポジショニング -



※Refの見えにくいところ、ハンドオフ、コンタクト、オフサイド等 要注意。

④ 試合中 …アシスタントレフリー(AR)との連携(3)

特に、ファールプレー(含「タグの受け渡し」)は、レフリーが目視できない場合が多い。悪質な行為については、ARは試合の展開を見定めてから旗を上げ、レフリーに競技の停止を求める。



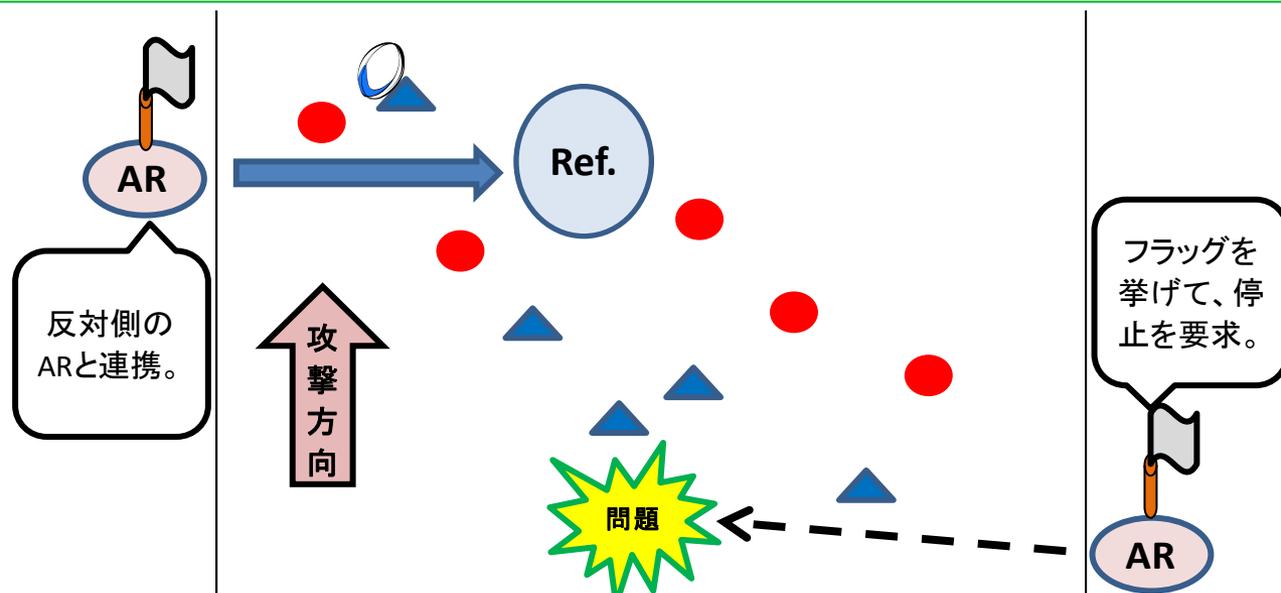
※タグ後のタグ受渡し、タグの落下等に注意。
問題がなければ、ボールの方向へ。

- I. タグをとった側も、とられた側も静止していること。
- II. しっかりと手渡しで行われていること。
(×押しつけ、投げつけ、投げ捨て、故意に受け取らない)
- III. 乱暴な言葉づかいでのやりとりがないこと。

④試合中 …アシスタントレフリー (AR) との連携(4)

レフリーの目視できない位置で起きた事象を理由に競技停止を求めたARは、以下の要領でレフリーに情報を提供する。

☆最終的な判断はレフリーが行う。ARはレフリーのアシスタントであることに留意する。



- I. どこで
 - II. 何色のどの(何番の)プレイヤーが
 - III. 相手のどの(何番の)プレイヤーに対して
 - IV. 何をした
 - V. (ペナルティとして)何(退場、注意、など)に相当する
- ※ II、III、Vはファールプレーの場合

まとめ

❖〈「ラグビー憲章」の理解〉



品位・情熱・結束・規律・尊重

ラグビーには勇気、忠誠心、スポーツマンシップ、規律、そしてチームワークといった多くの社会的・情緒的概念が包含されている。

伝統的なスポーツの特質の多くが弱められ、あるいは疑われる時代にあって、高い水準のスポーツマンシップ、倫理的な行動、そしてフェアプレーを維持する能力をラグビーが有することを、ラグビーは真に誇りに思う。

〈IRB『ラグビー憲章』より抜粋〉

❖〈ラグビー精神の反映〉

☆相手を不愉快にさせる行為、見ている人たちが眉をひそめるような言動から、尊敬や品位が生まれるでしょうか？

☆お互いが「守るべき一線」を共有し、順守するから、ダイナミックで、スキルフルなプレーが生まれ、そこで起きた出来事も「お互い様」で受け入れられる。

レフリーは、ラグビー精神を発揮する行為を支援する



❖〈レフリングガイドに対するお問い合わせ先〉

公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
普及育成委員会 事務局 普及育成部門
TEL:03-3401-3289
FAX:03-5775-5034

SMBCカップ 全国小学生タグラグビー大会
事務局
TEL:03-5777-6625
FAX:03-5777-5351

No Side!

